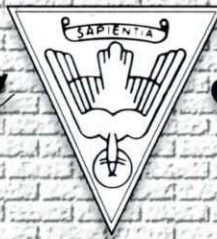


SAPIENTIA

Alma Mater



英 知 大 学 同 窓 会 報

Vol.11
Mar.10.1999

発行：英知大学同窓会
〒661-8530
兵庫県尼崎市若王寺2-18-1
発行責任者：野村 裕
編集：英知大学同窓会

●ようこそ同窓会正会員へ.....	1	●関東支部だより.....	5
●サビエンチア・タワーが出来ました.....	2	●和歌山グループだより「連れもて行こら」.....	5
●同窓会事務局よりのお知らせ.....	2	●1998年度総会議決報告.....	7
●同窓会に思うこと.....	3	●同期会やるよ〜!.....	8
●クリスマス・ミサに参加して.....	3	●11月9日にOB戦を.....	8
●同窓会レポート.....	4	●編集後記.....	8

同窓会正会員へ 会長 野村 裕

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。また、同窓会への正会員としての入会を心強く思い、会員一同心から歓迎の意を表します。

新年早々我々にとっては、ショッピングな事件でスタートしました。残念なことに、キリスト教に基づく建学の精神を有する本学において、人間の尊厳を軽んじ、人間愛を損なう事件であったと思います。

全ての卒業生をはじめ、在校生、教職員又卒業生が今一度、本学の建学の精神を思い起こし責任ある行動をとるべきでしょう。学長が、いつも述べられているごとく、「人間は、動物として身体的存在であるばかりではなく、知的存在者である。」

SAPIENTIA(英知)は、聖書(鳩)の賜である。SAPIENTIAとは、単なる知識・知恵ではなく、人間究明の目標の洞察力、最高規範の認識、絶対者なる神との一致を意味する。あらゆる現実を常に永遠の光のもとに見て明確に認識、か

つ判断し、それに基づいて行動するように人を導くものである。

本学の使命は単なる知識の獲得に留まらず、人をこの英知へと導くところにある。」

この意味をかみしめ直す必要があるのではないだろうか。

今の社会、我々の時代に比べると、大学生活も社会人も相当の「自由」が与えられていると思います。卒業される皆様も、多くは大学の4年間を自由を求めて入学し、あつという間に自由を享受したつもりで大学を卒業して行かれるでしょう。又、社会に出ても、少しは規制がありますが、自由に考え、自由行動できる部分は多いと思います。

しかし、自由を求めすぎるあまり、自己に甘く、節操をかけた脆弱な体質が生じてくるものです。自由にはそれ相応の責任が伴います。「主体的自己的責任」というものが、各個人に強く求められることになるかと考えます。

社会情勢や経済状況は、ますます

す混迷の時代へと突入してきます。その中で、「英知大学」を卒業した我々も、落ちこぼれないよう頑張っていかなければなりません。

何か悩んだり、落ちこぼれた時は、心配しなくても皆様には、帰れる場所があります。最終の学び舎である大学、我々の同窓会がそれです。

その為にも、「憩いの場」「情報元」「コミュニティー」等の提供、卒業生、在校生、又、母校の為に、日夜知恵をしほり、情報を交換し努力しております。

我々一人ひとりの力が大きな流れになることを全員自覚し、協力し、努力していきましょう。



同窓会会費に関する管理システムについて

●入会金・年会費

入会金は、大学側の御理解と在校生及び保護者各位の御理解により、入学時より準会員となっていたが、初年度に完納頂くことになりました。

また、過去には、徴収事務の不備もあり、お納めいただけなかった方には改めて、再度お願いすることになっています。会員間の公平を期するためにも、必要と判断しています。お願いには快く御理解を得られると考えています。

入会金のみでの運営では現状を脱却できないとの危惧からスタートし、御理解をお願いした年会費ですが、今一層のご賢察をお願いする次第です。

●名簿データの更新

お届けいただいた住所変更などを確実に処理できるようになります。また、卒業生の就職状況などのデータは、現在把握できていません。新卒者の方の就職活動の一助になるようデータの蓄積・メンテナンスも考えています。

運営につきましては「仮事務局」の閉鎖状況の現在、難しいものがあります。早急に、新たなルールを策定し運用を図る所存です。今しばらくのご猶予をお願いいたします。

●今後の課題

また、入学生者のデータ、卒業確定者のデータ、各クラブのデータなど大学、学生会などと確実に定期的にリンクできる仕組みを早急に構築する必要があると考えます。各方面の御協力を切にお願いする次第です。

同窓会組織の充実

●在校生への学資援助

同窓会の奨学金の一環として在校生1名に学資支援を行いました。現在卒業生を含み4名に支援しています。

●在校生への海外留学奨学金

英知大学国際言語教育センターの推薦により本年度も5名に留学奨学金を給付いたしました。同窓会と致しましては国際的な感覚をもつ人材を育成するため、今後とも援助を継続していきたいと考えております。

●関東支部との交流

関東支部では、6月27日(土)に支部総会が行われ、母校からは、英文科の井上博嗣教授が参加されました。同窓会本部役員からも野村会長を含め3名が参加し、学内美化、サピエンチア・タワー建築等の現状の母校の姿を報告し、関東支部との交流を深めました。又、HCDには関東支部の役員も2名参加していただき、今後とも多数の参加者を呼べるように努力したいと考えております。

●HCD

昨年11月3日に大学食堂において開催いたしました。参加者(会員・準会員)も、250名を数えました。参加いただきやすい企画等、今後とも努力してまいります。

●和歌山グループ

昨年の総会において承認された和歌山グループの「発足記念講演会」が開催され、多数の参加者がありました。

●職業別同窓生懇談会の開催

本年9月20日に英知大学の卒業生で旅行業、ホテル関係、航空業に勤めている関係者の懇談会が行われました。

当日は、ゲストに就職課の須澤課長を迎え、設立発起人、中尾陽一氏、地村昭彦氏はじめ、7名のOB、OGの参加がありました。会の名称は「サピエンチアクラブ」と称することが決まり、これからも母校の発展や在校生の支援に寄与する事が出来るように会を続けて

いく事で話がまとまりました。

●お詫び

昨年度より実施してまいりました「教職員との懇談会」、「スポーツ交流会」は、大学から中止要請があり、やむを得ずとりやめました。来年度は、企画を新たに、開催する予定です。皆様ご期待下さい。

大学側からの急な要請による事務局移管により会員及び準会員の皆様には多大なるご迷惑をお掛けし誠に申し訳ございません。早急に事務局機能回復に努めたいと考えておりますので、今しばらくお待ち下さい。

同窓会「会報」の充実

今年度も9号を3月10日に、10号を10月10日に発行することができました。昨年の反省の中にあつた活動報告ばかりにならないようにしようという事でしたが、この10号を振り返ると、やはり活動報告で終始していると感じました。年2回発行する日程は決まっているわけですから、それに向けて原稿集めをすれば良いのですが、現実にはなかなかその通りにはゆきません。理想としては、予備の原稿を溜めておけるくらいになりたいと思います。

同窓生の皆様より、どしどし寄稿をお願いいたします。内容としては、各クラブなどのOB会情報、随筆、詩、卒業生会社のコーポラル編、尋ね人(同窓会)、クイズ、パズル、挿し絵、支部便り、小説等、お待ち致しております。また、会報だけでも作ってみたいと思っておられる有志の方々も募集致します。

事務局報告

●「土曜講座」の参加について

「会報」で皆様にお知らせしておりました就職部主催「土曜講座」の卒業生の参加は、以下の通りであります。限られた曜日・時間帯のため、少数の参加でしたが、皆さん熱心に参加されました。

尚、「土曜講座」の一環であった「語学講座」および「語学試験」につきましては、本年10月より来年3月に本学国際言語教育センターへ業務引き継ぎをおこない、1999年4月からは完全業務移管をおこないます。

以下の一覧表は、昨年10月より6月までに実施した「語学講座」および「語学試験」の状況です。

講座及び試験 実施一覧(1997年10月～1998年6月)

講座名	実施日	受験者	うち卒業生
第5回 地方公務員行政職受験対策講座	97年11月29日～98年7月11日	13	1
第3回 一般旅行業務取引主任者受験対策講座	98年5月9日～7月18日	15	0
第6回 TOEIC 試験	97年12月13日	35	0
第7回 TOEIC 試験	98年3月14日	51	1
第8回 TOEIC 試験	98年6月20日	66	4
第4回 SCORE UP 試験	97年10月25日～98年3月7日	19	2
第5回 SCORE UP 試験	98年5月9日～6月13日	17	1
第2回 TOEIC Intensive Course	98年3月4日～3月9日	12	1

●同窓会後援「学内・企業説明会」について

1998年2月19日(木)に学生会館2階において、卒業生が在職する企業や、就職志望の多い企業など15社を招き、「学内・企業説明会」を実施いたしました。

各企業のブースでは、本学卒業生と企業の採用担当者が学生の対応をする形式で進められ、真剣に先輩や人事担当の方の話に耳を傾けていました。

当日は、150名からの学生で賑わい、初の試みながら学生たちの意気込みにあらためて感心させられました。

また、参加学生には同窓会より野村会長の激励文書と記念品が渡されました。本会開催にあたり、同窓会より多大のご支援をいただき重ねて感謝申し上げます。

●「各種講座・試験への助成金」について

昨年12月の役員会において、就職課で主催する各種講座や試験

1983年(昭和58年)に
卒業された方

「同期会」やるよ!!



時間の経つのは早いもので、卒業してからもう16年になりますね。仕事に又、家庭にと

本当に多忙な日々を送られている事と思います。そして遠方でお暮らしの方も多いかと存じます。それと知りつつ皆様方にお声がけするのは、ためらいも有りましたが、この

たび「同期会」開催に向けての御賛同、御協力を頂きまして、旧交を暖め合う場をもつ事が出さればと願っております。

英知大学キャンパスでは、ここ数年大規模な増改築工事、新築工事が行われ、その中でも一番目を引かれるのは10階建てのサビエンチア・タワーで、かなり遠くからでも見る事ができます。四本の通し柱が力強くそびえ立つ勇姿は要必見!

なお、1983年卒業生同期会は、ホームカミングデーの場をお借りして行いたいと思っております。ご家族、旧友お誘

い合わせの上(カジュアル)でお越し下さい。

最後になりましたが、本会(83年同期会)開催にあたり、英知大学同窓会、大学祭実行委員会、同期生の皆様の温かい御厚意に深く感謝いたしております。

■開催日
1999年(平成11年)
11月3日(水)

(文化の日)

■時間
同窓会総会
13時00分~14時00分

於：サビエンチア・タワー
ホームカミングデー
14時00分~17時00分

於：学生食堂

■対象
・神学科17期生・英文科16期生
・西文科15期生・仏文科12期生

《お問い合わせ先》
英文16期3組 玉島 幸一
TEL&FAX
06-6841-2354

11月3日に
OB戦を



昨年より同窓会事務局のお手伝いをさせて頂いたようになり、月1回の定例会の最も大きな課題は、11月3日当日にいかにも多くの卒業生に来てもらえるかという事です。まずは呼びかけだと思っております。私は、各クラブのOB会を動かす事が最も取組みやすく、また、OBとして望んでいるのではないかと思います。

私自身卒業しまして23年になりますが、同期・先輩・後輩との交流はあります。なかでも私はサッカーをしてみましたので、クラブ関係の付き合いが今でも深く永く続いております。サッカー部は昨年の卒業生から数えて35年になり、約150名ほどになります。毎年正月に初蹴りを英知グラウンドにて行い、毎回30名ほど集まります。昨年に、やっと色々な人と連絡をし、35年がようやく5月くらいには、正確な名簿をつくり、総会を開こうかと計画しております。11月3日のOB戦についても、現役との話し合いの結果やろうという事に決定しました。又、今年になり、私と同期の塩見孝子(旧姓 中村)さんが硬式

テニスのOBの世話役をしているという事で、硬庭の新年会に出席しまして11月3日にOB戦をお願いしましたところ、心よく引受けてもらいました。当日は、現役も出席してましたので、現役生もOBの熱き想いを理解してもらえたと思います。今のところサッカー部、硬式テニスだけですが、体育系だけではなく文化系にも

OB組織がきっちりできてきているクラブもあると思いますので、是非一報ください。又、11月3日にOB会を行いたいと思われているOBの方々、是非連絡下さい。本当に楽しい1日を過ごしたいと思っております。

英知大学同窓会事務局 泉 啓太
TEL/06-6498-6258

編集後記

まだまだ底の見えない不況の中、倒産だ、自己破産だ、リストラだと暗いニュースばかりが目立つ毎日です。同窓生の皆様方も何らかの形で影響を受けておられる事と思えます。陣中御見舞申し上げます。

こんな世の中だから、今回の会報の自身の様に「同窓会をしませんか?」「クラブの対抗試合をしませんか?」等々、あなたの利害関係のない「おい」「おまえ」で呼び合って来た友達顔を懐かしく思い浮かべ、「ああ、どうしているのかな。会って見たいなあ。」と思っておられる方が多いと思えます。

先号の会報にも有りましたが、同窓会とは郷愁と癒しの場だと思っております。

役員の方々、会社の事、家庭の事を思うと、今、同窓会の仕事をしている場合ではない、もっと現実を直視し自分の仕事、将来を考える時ではないのか?こういう自問自答をしながら、活動をしていきます。

少ない人数で運営し専門の事務局員を持たない組織のつらいところだと思います。それでも、それでも、皆の笑顔に会いたい。これからも、ご協力の程よろしく願っています。

英知大学同窓会 藤本 滝三
大月 力